

# 本町3丁目 自治会だより

各会員1部ずつ  
お受け取りください

## 大池小で避難所開設訓練 レスキューやドローン実演も

1/20(土)に**全市一斉防災訓練**が行われ、大池小では避難所開設訓練が行われました。新年早々に**能登半島地震**があり、現地では今もまだ大変な状況が続いていることもあり、今年市も私たち市民も今までより更に真剣に話に耳を傾け、高い関心と当事者意識を持って参加していました。



体育館では**心肺蘇生法**の実演や**ベッドの組み立て体験**、ドローンの実演、そして校庭では**レスキュー隊**による救助訓練が行われました。



課題は沢山ありますが、校長先生の挨拶にもあったように、各組織が繋がりと、**防災減災への意識を高める**ことが、この一斉訓練の一番の意味合いだと感じました。



## 安否確認訓練も無事実施

大池小での訓練に先駆け、大池地区では「**豊中で大きな地震が起き、朝9時半に市から安否確認の依頼があった**」という想定で安否確認訓練を行いました。

先月の自治会だよりでもお伝えしたように、災害時に地域内での支え合いから取り残される人が出ないように、現在3丁目に45名いらっしゃる**要支援登録者**の方々の安否を確認していく作業です。

まず安否確認依頼の連絡が大池社協から自治会長へ、そして民生委員から全協力者へと回ります。協力者は自分や家族が無事であれば、登録者の家へ行って安否を確認。そして担当の民生委員に状況を報告し最後に大池地区全体で集計します。

地域には登録者の他にも心配な方がまだまだ沢山おられますので、積極的に**隣近所で声を掛け合う**ことをぜひ各自心がけましょう。

## 班長会で意見交換

コロナ禍で制約があった間はなかなか大勢で集まらず、去年はブロック毎に開催した班長会ですが、今年には久しぶりに**全体会として開催**。「回覧板の回数が減ってホッとしている」「自治会だよりは毎回楽しみにしている」など多くの**班長さんの声**を聞くことができました。「お知らせ」を先に回覧することで会費集めがスムーズに出来たという班も多かったのですが、中にはお留守の方と連絡が取れず苦心された班長さんも。またやはり地震などの災害にみなさん大きな不安を感じていました。**ご近所での安否確認**の際には、班ごとに作成している**班名簿**が活用できるのではないかとといった話も出ていました。

能登半島の被災地の状況を見ると、地震から一ヶ月以上経ってもまだゆっくりと安心して眠れる環境すら得られない人たちが大勢いることに衝撃を受けます。関西全域が被災現場となった時には一体どのような状況になるのか、毎日ニュースを見ながら考え込んでしまっています。(H)